

### 第九回通研国際シンポジウム

## 「ニューパラダイムVLSI コンピュータティング」

通研国際シンポジウム「ニューパラダイムVLSIコンピュータティング」を平成十四年十二月十二〜十四日の三日間、青葉記念会館にて開催させていただいた。本分野の第一回国際会議を創設する機会が得られたことはたいへん有意義であった。

本国際シンポジウムは、従来の延長上にはないシステムレベルを中心とした革新的要素技術についての発表・討論を目的として、以下のような趣旨で創設されたものである。

「人にやさしい情報社会を実現する重要分野の一つとして、高度な自律的知能処理を行うリアルワールド応用知能集積システムがある。応用例として、人間生活支援ロボットなどを実現するためのロボットエレクトロニクスシステム、安全性やセキュリティを確保する高安全知能システム、環境の自律的認識により人間を支援するマルチメディア知能システムなどがある。これらの知能アルゴリズムを高速かつ低電力で実行するシステムオンチップとそれらを用いたシステムインテグレーション技術に関する発表と討論を行う。」

特に、以下のトピックに対する従来の延長上にはない新パラダイムに関する研究発表が行われた。プログラムの詳細は、

<http://isnp.kaneyama.ecei.tohoku.ac.jp>を参照してください。

- (1) VLSIの配線に起因する問題の解決、
- (2) 低電力かつエネルギー効率のよいアーキテクチャ、
- (3) 新概念デバイス・回路アーキテクチャ、
- (4) システムインテグレーションとリアルワールド応用、
- (5) 知的信号処理とアルゴリズム。

本シンポジウムの参加人数は八十二人、うち外国人は米国、カナダなど十八人であった。

参加者の間でも、本分野の重要性が再認識され、第二回以降の開催継続にも強い要望があり、関係者一同東北大学を拠点に本分野の世界情報発信にさらに貢献したいという意を強くした次第である。

招待講演者を中心に日本情緒あふれる雰囲気のもとに懇親会も開催され、大いに親睦を深めた。

末筆ですが、本シンポジウムにご支援いただいた通研・青葉山の教職員各位に厚く御礼申し上げます。(亀山充隆 記)



## 「エレクトロニクス発展の あゆみ調査会」報告XIV

事務局長 斎藤 雄一

当調査会は現在、既刊「エレクトロニクス発展のあゆみ」黎明期の東北帝国大学工学部

電気工学科の「資料編」を発行すべく収集した資料の整理を進めております。

「資料編」(案)は第一編：エレクトロニクス発展のあゆみ調査会の経緯、事業について。第二編：対談集(故松前重義氏他・五三件の先輩他との対談記録)。第三編：資料(火曜談話会記録等)で構成する予定です。

火曜談話会資料(当初は電気通信法研究室雑誌会の名称)、先輩との対談記録資料のチェック、修正を終了しており今後、収集資料のうち「資料編」に収める案件の具体化と後世に残す資料の整理、その目録の作成等を進め、今年中に刊行に漕ぎ着けるよう作業を行ってまいります。

(調査会事務局)  
〒104-0061 東京都中央区銀座  
七・九一十 銀七ビル(株)グロウバル  
エース内 電話(03)三五七二・四八三一  
(高日泰夫(通昭三九)記)

### 平成十四年度駅伝大会報告

毎年恒例の電気・情報系・通研駅伝大会(第三十八回大会)が十一月十六日(土)に開催されました。今年も、同日開催の他系との混乱を防ぐために出走時間を例年の十二時からずらし十時三十分出走としました。このため幹事・審判員は当日午前七時に集合し、天気は良いが吐く息が白くなる十度前後の中で、順調に準備が進められました。

参加チームは、全六十八チーム(青葉山四十八、通研二十)で、この中にはオープン参加の十八チーム(青葉山十三、通研五)が含まれております。今年の入賞チームと成績は次の通りです。

- |     |     |        |
|-----|-----|--------|
| 優勝  | 根元研 | 51分07秒 |
| 準優勝 | 樋口研 | 51分15秒 |
| 第三位 | 鈴木研 | 52分01秒 |
| 第四位 | 星宮研 | 52分11秒 |
| 第五位 | 亀山研 | 52分22秒 |

- |     |          |        |
|-----|----------|--------|
| 第六位 | 犬竹研      | 52分50秒 |
| 第七位 | 横尾研      | 52分51秒 |
| 第八位 | 堀口・海老沢研  | 52分55秒 |
| 第九位 | 澤谷研      | 53分21秒 |
| 第十位 | 中沢・個体電子研 | 53分23秒 |
- レース終了後は恒例の表彰式が大講義室で開催され、福島杯、入賞チームの表彰、ラッキークイーン賞、特別賞が授与されました。特筆すべきは、優勝した今年の根元研で、情報工学科研究室対抗野球大会、電気・情報系親睦会委員長杯テニス大会、電気・情報系親睦会主催バレーボール大会の全てで優勝し、スポーツで四冠を達成した輝かしい記録を残しました。
- 本駅伝大会は、電気・情報・通研から研究室単位で参加する競技であり、研究室の結束を高め、電気系全体の熱意と親睦を高める良い機会であることは言うまでもありません。今年度もこの大会が成功裏に終了したことをご報告申し上げますと共に、実行委員、関係各位に御礼を申し上げます。
- (電気・情報系親睦会副委員長 宮下哲哉 記)

